R	組織目標と成果	理夕笙	政策企画課	全体	6	i
יו	性限ロホビル木	か	以次正国际	個別	02-01	

総合計画	挑 戦	ひ。	とづく	(1)										
の区分	最優先課題	次世代の担い手の郷土愛を育む												
項	目	対,	馬 3 高	 	力化	推進	事業							
取組	且の内容	島内中学生のほとんどは高校に進学するものの、約3割の学生が島外の高校に進学している状況であり、人口減少、少子化が顕著な本市では、島内3高校において毎年、定員割れの状況が続いているため、対馬高校に陸上専門の指導者を招聘し、島内3高校の魅力化を図るとともに、小中学校への出前授業等の普及活動により、島内進学率を上げ、人口減少の抑制に繋げます。また、3高校における課題の一つである遠征・合宿に係る経費に対して支援を行い、保護者の負担軽減を図ることで島内3高校への進学率向上に繋げます。												
指標(数値目標)	中で3 〇小中	高校へ 高校の 学校に	運動部おける	に対す。 普及活動	るフィシ 動 (出前	ジカルト 前授業)	トレーニ を 5 回	ニング指 回実施し	を上部 道を各 ます。 ・部を助	1回実	施しま ⁻		
SD	Gs指標	1 550	†.İ	4 805	eane I			達	重成時	期	令和	令和 6 年3月		
取組とス	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
対馬高校陸上部	 3指導	-									_ 			
3 高校の運動部 ルトレーニンク	『に対するフィジカ 『指導													
小中学生普及活	5動(出前授業)													
事業説明(校長	長会等)													
勧誘活動														

	(※年度終了後に記載します。)
指	
標	
に	
対	
す	
る	
実	
績	
	(※年度終了後に記載します。)
評	
価	
	=== 7 -
	評価記号
今	(※年度終了後に記載します。)
後	
の	
展	
開	

理夕笙	しまの力創生課	全体	7
本 石寸	しより刀刷王林	個別	02-02

総合計画	挑 戦	な	りわし	ヽづく	Ŋ										
の区分	最優先課題	事	事業を承継・拡大して雇用を創出する												
項	目	様々な機関や業種団体と連携した産業の振興													
取約	且の内容	事業者団体、金融機関、大学などの研究機関、行政、その他産業振興に携わる団体等で構成する「対馬市創業支援会議」において、創業や事業の拡大を行う方を多方面から総合的に支援します。また産業の振興と雇用の増加による地域の活性化についてつなげます。 また島内の産業に必要な人材確保に向けて人材育成を推進し、さらに有人国境離島法に基づく雇用機会拡充支援事業補助金も活用しながら雇用を伴う事業拡大や民間事業者による創業を支援します。													
指標(数値目標)	○ワンストップ相談窓口等での相談件数 : 100件○創業の目標件数 : 3件○雇用拡充(新規事業拡大件数) : 10件○被雇用者の雇用目標人数 : 30人													
SD	Gs指標	8 Base 8	1	9 ##	EMERGE COCKE			達	成時	期	令和	16年	3 月		
取組とス	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
ワンストップ相	目談窓口の相談受付														
補助金説明、事 開催	写業支援セミナーの														
雇用機会拡充支	5援事業審査会														
創業支援事業審	客查会 ————————————————————————————————————														
								1							

指標に対する実績	(※年度終了後に記載します。)
	(※年度終了後に記載します。)
評	
価	
	評価記号
今	(※年度終了後に記載します。)
後	
の □	
展開	
(部/本本	

調夕笙	地域づくり課	全体	8
本 有寸	地域フてり味	個別	02-03

総合計画	挑 戦	つ;	ながり	Jづく	IJ								
の区分	最優先課題	持	続可能	とな ラ	イフ	ライン	ンを確	笙保す	る				
項	目	地域公共交通計画の策定											
取組	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づき、地域公共交通計画を策定し、利便性の高い公共交通体系を構築するとともに国・県の補助を活用した事業を計画的に実施できる環境を整備します。												
指標(数値目標)	① 均 ② 均	也域公共	+交通 +交通		協議会	作業部	崔(3년 『会(: f)	.,				
SD	Gs指標		1 see 9 excisions 11 seesons The property The				4	達成時期 令和6年3月					3 月
取組とス	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地域公共交通活	舌性化協議会の開催												
作業部会の開催	É												
計画策定業者選	建定			Î									
計画策定(現状析)	で調査・情報分											\Rightarrow	

. L	(※年度終了後に記載します。)
指	
標	
に	
対	
す	
る	
実	
績	
	(※年度終了後に記載します。)
評	
価	
	評価記号
今	(※年度終了後に記載します。)
後	
の	
展	
開	
1213	

卸夕笙	SDGs推進課	全体	9
林 石 寸	3DG5推進床	個別	02-04

総合計画	挑 戦	全耳	頁目												
の区分	最優先課題	全项	頁目												
項	目	SD	SDGsの推進												
取組	SDGsアクションプランと第2期SDGs未来都市計画に基づき、持続可能なしまづくりを実施します。 1. SDGs推進の基盤づくり:交流と対話の場及び人づくり 2. 「対馬モデル」によるSDGs全体への波及とサーキュラーエコノミーの活性化														
指標(数値目標)	1-1. 交流と対話の場づくり…「SDGsカフェ」毎月20名、「SDGsパートナーズ登録」新規50者、「SDGsプラットフォーム」運用100者1-2. 人づくり…「対馬グローカル大学」各ゼミ50名受講、「対馬学フォーラム」250名参加、「SDGs教育支援」島内 5 校													
SD	Gs指標	17	3					達	成時;	期	令和 6 年3月				
取組とス	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
1-1. 交流と対記	舌の場づくり														
1-2. 人づくり															
2. 「対馬モデル ド実証の検討	ン」研究とフィール												,		

	(※年度終了後に記載します。)
指	(公十)及於 」 仮に記載しより。 /
標	
に	
対	
す	
る	
実	
績	
帜	
	(※年度終了後に記載します。)
評	
価	
	=T /m = 3 D
	評価記号
今	(※年度終了後に記載します。)
後	
の	
展	
開	

押夕 笙	デジタル推進課	全体	10
本 有寸	ノノメル推進課	個別	02-05

総合計画	挑 戦	対	象外										
の区分	· 分 最優先課題		対象外										
項目		デジタル活用支援の実施											
取組の内容		「誰一人取り残さない、人にやさしいデジタル化」に向け、身近に支援者がいない高齢者等がデジタル社会の利便性を実感できるようスマートフォン操作やアプリの活用等について1対1での支援を実施します。 市内の各庁舎に5月よりスマートフォン相談窓口を設置します。											
指標(数値目標)	①スマートフォン相談窓口の設置回数 12回/年 ※月1日×10か月(6月~1月)=8回/年 月2日×2か月(5月、2月)=4回/年 ②延べ相談件数 60件 ※5件/日×12回/年=60件											
SDGs指標		10 APRICATE SECTION AND APRICATE SECTION APPRICATE SECTION APPRICA				達成時期 令和6年			16年	2月			
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
支援委託先の決定及び打合せ													
スマートフォン相談窓口設置													

指標に対する実	(※年度終了後に記載します。)
績	
評	(※年度終了後に記載します。)
価	
	評価記号
今	(※年度終了後に記載します。)
後	
の	
展	
開	